

わかくさ学級5・6年 道徳科学習指導案

令和7年1月25日(土)

わかくさ5・6組 5年生 12名

6年生 5名

授業者 佐宗紀子

- 1 主題名 精いっぱい生きる 内容項目:D(17)生命の尊さ
- 2 教材名 「最後のコンサート —チェロ奏者・徳永兼一郎—」光村図書5年
- 3 ねらい 病に侵されながらも演奏家としての自分の生き方を全うした徳永兼一郎さんの姿を通して、「精いっぱい生きる」とはどういうことかを考え、生命の尊さや今の生活を大切にしようとする心情を育てる。
- 4 展開

	学習活動(主な発問と予想される児童の反応)
導入	<p>1 「生きる」とはどういうことだと思うか、考えを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none">・息をすること。・おいしいご飯を食べること。・勉強を頑張ること。・楽しいことをすること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">めあて:「精いっぱい生きる」ということについて、考えよう</div>
展開	<p>2 「最後のコンサート—チェロ奏者・徳永兼一郎—」の話や動画から、話し合う。</p> <p>①徳永兼一郎さんの生き方について分かったことを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none">・チェロ奏者 ・がんでもう演奏できる状態ではない。・それでも舞台上に立って演奏した。 <p>②チェロを弾けるような状態ではなかった兼一郎さんが、最後まで演奏することを諦めなかったのは、どんな思いがあったからか、考えたことを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none">・大好きなチェロをどうしても最後まで演奏したかった。(自分のため)・友達が作ってくれたチェロを演奏したかった。・みんなにチェロを聴いてもらいたい。(人のため) <p>→「精いっぱい生きる」=自分の命や生活を大切にする。あきらめなくて頑張る。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">生きるしあわせ・よろこび</div> <p>3 自分が「精いっぱい生きていること」について、考えたことを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none">・勉強を頑張っている。・やってみいたいことにチャレンジしている。・苦手なものも食べようとしている。・健康に気を付けている。・友達と仲よくしている。・家族との時間を大切にしている。
終末	<p>4 先生の話聞き、授業の感想をもつ。</p> <p>(P.94『なんだろうなんだろう 生きる「しあわせ」ってなんだろう。』ヨシタケシンスケ)</p> <ul style="list-style-type: none">・今、元気でいられることは幸せなのだと思います。・兼一郎さんのように最後まで諦めなくて頑張りたい。・自分が「しあわせだ」と思えるように、これからも頑張りたい。

5 評価

- ・「精いっぱい生きる」ということについて考えることで、命の尊さや今ある生活の大切さに気づき、自分自身の日々の生活と関連させて考えている。